

## 公益財団法人 大堀秀夫記念育英財団の概要

### 【沿革】

- 昭和50年9月、大堀秀夫<sup>おおほりひでお</sup>を初代理事長に「財団法人 伸芽会 育英財団」<sup>しんがかい</sup>として設立。福井県大野市に事務所、東京都豊島区目白に東京連絡所を置き、奨学金事業、体験活動事業、研修会事業などの教育関連事業を開始
- 平成14年4月、法人名を「財団法人 大堀育英財団」<sup>おおほり</sup>に変更
- 平成16年10月、設立者の大堀秀夫死去
- 平成17年11月、福井県大野市出身の桑森眞介<sup>くわもりまさすけ</sup>（明治大学教授）が理事長に就任
- 平成21年11月、東京連絡所を廃止し、事務局を福井県大野市の事務所に一元化
- 平成23年3月、福井県知事より平成20年施行「公益法人制度改革関連三法」に基づく公益法人への移行認定を受け、同年4月1日登記、法人名を「公益財団法人 大堀育英財団」に変更
- 令和元年6月、法人名を「公益財団法人 大堀秀夫記念育英財団」に変更
- 令和4年6月、桑森眞介理事長が理事及び理事長を辞任。
- 令和4年6月、新理事長に川田香菜子理事が就任し、現在に至る。
- 令和5年6月、新理事長に北村泰生理事が就任し、現在に至る。

### 【近年の活動内容】

- 奨学金事業 貸与奨学金（月額4万円・無利子）、令和4年度の奨学生数28名  
毎年度の審査により成績優秀な者4名に返済免除の特典を付与
- 体験活動事業・研修会事業
  - 平成29年度 キャップリーグ-交流研修会を主催の他、第10回名水ジニア杯卓球大会、木でつくる時間割表教室など公募事業10件を助成
  - 平成30年度 大堀秀夫記念事業・キャップカレッジ-交流研修会を主催の他、第15回トモロコシコンサート、子どもサッカー教室など公募事業11件を助成
  - 令和元年度 キャップカレッジ-交流研修会を福井県キャップ協会と共催の他、福井ふるさと学びの森で遊ぼう、富田 Glow カップ ミニバスケットボール大会など公募事業9件を助成
  - 令和2年度 キャップリーグ-養成研修会を福井県キャップ協会と共催の他、第17回トモロコシコンサートなど公募事業（体験活動事業）3件を助成
  - 令和3年度 野外教育指導者養成研修会を福井県キャップ協会と共催の他、楽しいキャップ教室など公募事業（体験活動事業）2件を助成
  - 令和4年度 野外教育指導者養成研修会を福井県キャップ協会と共催の他、第19回トモロコシコンサートなど公募事業（体験活動事業）3件を助成

### 【設立者のプロフィール】

設立者・大堀秀夫は昭和2年、東京都豊島区に生まれた。立教大学大学院・教育学研究科を卒業後、立教大学・助手および文化女子短期大学・講師として勤務。その後、東京で幼児教育の専門機関「伸芽会」を設立し、晩年まで社長を任務した。大堀秀夫の両親は福井県大野市出身であり、自身も戦時中大野市に疎開していた経験があったことから、大堀は、東京で「伸芽会」を経営しながらも、福井県の教育界に貢献したいと考え、昭和50年9月10日、親戚の前理事長・桑森眞介の実家を事務所として、「財団法人 伸芽会 育英財団」を設立した。設立に必要な資金の大部分は大堀秀夫が拠出し、初代理事長は大堀自身が務めた。著書に幼児教育用図書「子どもを大きく伸ばす小学校受験—私立・国立小学校入試合格の大切な真実、小学館、1995年」など多数。